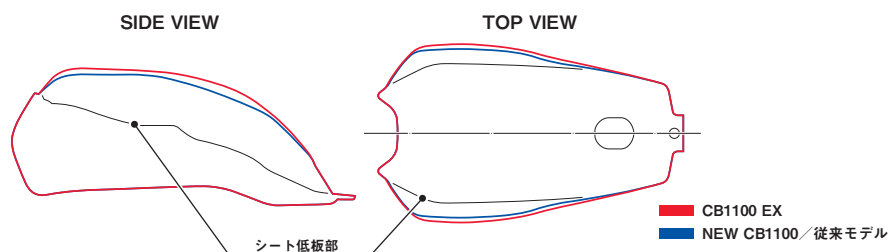


CB1100 EXはネオクラシックなベストバランスを効果的に演出するために、プロポーションを見直し以下の変更を行っています。

●CB1100 EXのフューエルタンクは、CB1100に対し、従来比、約3L容量アップしながら最適なサイズとバランスに配慮しています。CB1100らしさを踏襲しつつもプレスラインを変更し、よりトラディショナルな落ち着いた佇まいを演出するなどのモディファイに加え、跨った時にタンクの両側からエンジンのヘッドカバーやフィンが見えることや、面の張り具合に注力した作り込みとしています。また、タンクの形を強調するピンストライプは踏襲しています。

■フューエルタンク形状比較



●シートはライダー側のクッション厚を20mmアップし、跨った際の膝まわりに余裕を持たせたライディングポジションとしました。また、ピリオン側のシートボトムのラインも下げて、たっぷりとしたボリュームのルックスに。座面には質感が高く、シンプルで飽きの来ないパターンニングのワディング処理を採用し、見た目にも座り心地の良さそうな質感と形状を感じて頂けるようデザインしました。

●アップハンドルに合わせて、ヘッドライト/ウインカーの位置を上方に25mmアップしスッと背筋の伸びた姿勢を演出、完成車としてよりバランスの取れたイメージとしました。

●よりトラディショナルな落ち着いた佇まいを演出するために、サイドカバーの形状を横長の形状に変更し、さらにシート下端及びガーニッシュの角度を水平方向に変更しています。

●リアホイールのリムをしっかり見せ、タンクボリュームとバランスさせるための、長過ぎず短すぎないベストなマフラーの長さとお筒径を設定しました。

